

第二次地域福祉活動計画

計画期間: 2019年4月1日から2024年3月31日まで (5 年計画)

2019年度実行計画進行管理



取手市社会福祉協議会

Toride city council of social welfare

とりでYOU・Iのまち

「とりでYOU・Iプラン」の進行管理

1 目的

この方針は、「とりでYOU・Iプラン」（以下「プラン」という。）を効果的かつ効率的に推進するため、プランに基づく様々な取り組みについて検証し、継続的に改善することによりプランの円滑な進行管理に資することを目的とする。

2 進行管理の対象

(1) 行動計画の評価

- ・実施項目において、成果の評価及び今後の方向性について個別評価を行う。
- ・評価結果は、実施項目シート毎に記入する。

3 進行管理の実施体制

(1) 事業所及び担当者の役割

- ・実施項目の企画・実施にあたる担当者が、実施項目毎に成果を評価し、今後の計画の進行状況を確認・見直しをする。
- ・担当者が行った進行管理について、事業所内で共有化し評価・検討する。また、必要に応じて実施項目の担当者の評価を基に振り返りを行い、事業所としての評価としてまとめるとともに、課題を明らかにし、共通理解を図りその解決方法を検討する。
- ・行動計画の進行進捗状況について、年度内に取手市社会福祉協議会運営委員会に報告し、助言を受けることとする。
- ・助言等を受け行動計画の修正を図り、年度末にその状況等を取手市社会福祉協議会運営委員会に報告する。

4 評価の基準

(1) 成果状況の評価基準

評価区分	成果内容
5	順調に計画通り進行した
4	概ね順調だが不十分な点が少しあった
3	実施されている部分もあるが不十分な点も多い
2	既に実施予定の時期であるが、まだ取り組んでいない
1	実施方法も含め事業実施に再検討が必要であり、取り組んでいない

※年度当初に作成する、年間の事務事業執行計画に対しての成果状況とする。

5 進行管理の実施時期

(1) 成果状況評価

- ・1月中旬に（4月～3月見込み実施分）の成果状況の評価を実施する。

(2) 今後の計画の進行状況を確認・見直し

- ・年度末（1月中旬）に1回実施する。
- ・担当者及び事業所が行った評価結果について、1月の事業所連絡会議において確認・検証する。

6 進行管理の実施結果

- ・進行管理の実施結果については、取手市社会福祉協議会運営委員会及び理事会・評議員会に報告する。
- ・進行管理の実施結果については、必ず担当者が次年度担当者に引き継ぐ。

第二次地域福祉活動計画（とりでYOU・Iプラン） 令和元年度実行計画進行管理

1. 基本方針

本年度より第二次地域福祉活動計画が始まり、「市民ひとりひとりが、その人らしく地域で安心してくらする福祉のまちづくり」という基本理念のもと、市、地域団体、市民の協働により、地域課題を解決するべく市民全体で取り組んで行けるような、住民主体の仕組みづくりを目指します。

令和元年度のYOU・Iプランは、第二次計画の初年度として5つの行動目標に対して市内で行われている、市、団体等の事業、行事等を調査、把握し、行政や福祉関連の団体・事業所との密接な連携を図り、効率的・効果的な行動計画の進行管理に努めてまいりました。

2. 令和元年度の重点的な取り組み

●情報の収集と発信についての研究

社会福祉を取り巻く環境は、急激な少子高齢化、家庭における家族機能の低下などにより、支援を必要とする高齢者や障がい者はますます増加する傾向にあります。このような社会構造の中、身近な地域での取り組み、お互いを気遣い、支え合いながら、共生していく仕組みづくりが求められています。

現在、取手市内でも地域での様々な取り組みが行われています。令和元年「第二次地域福祉活動計画」初年度は、地域の連携などにつなげるための第一歩として、様々な取り組みについて、情報収集に努めました。

取手市、社協、各種団体、自治会などで行われている各種講座、イベント等、市内の活動について調査した結果、団体などの社会資源や活動、地域にもたらす効果などを知ることができました。それらを今後の展開に活かすため情報を一元化し、効果的な情報発信の方法についても研究しました。

今期の5年間で行動計画を実行するための基本情報を得ることができました。

●協議体との連携と活動推進についての調査研究

生活支援体制整備事業により地域でのつながりや、より良い地域づくりを考える協議体が全国的に設置されてきています。取手市でも「地域支えあいづくり推進協議会」という名称で展開していますが、様々な取り組みが行われているにもかかわらず市民にはいまだ深く理解をしてもらうまでは至っていないのが現状です。

この仕組みが完全に機能し、市民の協力が得られれば、地域づくりが発展する可能性があるため、様々な市民へのアプローチを試み、市民への関心の高い効果的な広報や手法について模索しています。

今年度も地域包括支援センターで様々な市民向けのイベントが開催されました。協議体の活動にあたっては、地域課題の発掘の面でも地域住民の参加が不可欠なため、協議体について知ってもらうことの重要性から、介護、防災など市民の関心事について出前講座を行うとともに協議体の活動についての講話も併せて実施されました。

その他、高齢ドライバーの免許返納の問題、防災についてのシンポジウムなども行われ、様々な取り組みで得た情報を発信し、市民の協議体への参加へつなげるべく行われました。このような地域包括支援センターの現在までの活動についてをまとめ、これからどんな情報、活動が必要か、今後の展開について調査しました。

また、取手市内のみならず先進的な取り組みについて研究し、取手市の多くの場所でも取り入れ、展開できるかどうかを視野に、先進地視察を行いました。

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	五十嵐 玉枝
該当項目	行動目標	1	もっと学ぼう、知らせよう—情報の共有促進	
	取り組み	①	福祉に関する情報の共有促進と理解者の拡大	
現状と課題	<p>地域包括支援センター、自治会・町内会等主催で座談会や勉強会、また行政、社協、NPO・ボランティア団体等主催の講座などが盛んに開催され、地域での情報共有、連携協力体制が構築されてきています。しかし一方で自治会・町内会によっては防災活動や協力体制が進んでいない地域も多いようです。</p> <p>また様々な機関から情報発信をしているものの、地域住民に十分に届いていないものも多く、情報発信の方法の工夫、改善なども課題となっています。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた のかなど)	<p>(1) 市民福祉ニーズについて調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：ワークショップ・実施している座談会等の把握 (地域課題の集約、地域の特徴を把握) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：収集した情報の取りまとめ <p>(2) 情報発信について適切な方法で随時必要とされている情報を発信することに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：情報発信先進地や他市町村社協等の調査 福祉マップ等の調査 (どこでどんなマップを作成しているかを把握) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：収集した情報の取りまとめ 			
令和元年度 の実施状況	<p>座談会については概ね把握することはできましたが現状では福祉マップについての詳細まで調べるには至っていません。</p> <p>各地域での課題を集約している座談会等についての実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターでの取り組み <ul style="list-style-type: none"> はあとぴあ 11カ所で市政協力員、民生委員、高校、高齢者施設、スーパー、企業・商店、地域住民の方などが集まり、地域の課題の抽出や取り組みを検討している。 さらの杜 各地区の事業興しを推進するため、地区に関わる方でグループを作り、その中に第2層推進協議会の役員、包括事務局等が加わり活動を活性化することに努めている。 緑寿荘 自治会や高齢者クラブ、ふれあいサロン、げんきサロンなどを訪問し、地域の状況や意見を聞いて、課題を抽出している。健康教室や認知症サポーター養成講座なども開催しながら地域の方たちと交流・連携を図っている。 なごみの郷 ふれあいサロン、介護施設、また催し物、行事などにも参加し、課題を抽出している。自治会や介護施設にも訪問し、認知症や介護の講座を絡めたりしながら地域との連携を図っている。2地区でお茶会をするところがあった。 ・学校と地域の連携 <ul style="list-style-type: none"> 白山小と白山地区、桜が丘小と桜が丘地区、戸頭中と戸頭地区など。 学校あるいは自治会や自主防災会が主体となり、協力して避難訓練・防災訓練等を合同で行うことで、より多くの住民の方が参加しやすい環境づくりをしている。また児童・生徒にも、地域の方とふれあいながら、自分達も災害に遭ったらどうするか、地域で何ができるか考え、行動することを学習する機会となっている。 			

進行 管理	成果 状況	成果状況に対する説明		
		9月 ～ 3月	3 具体的にどのような話し合いがされているのかまでは完全に把握していません。今後、より詳細な調査が必要かと思えます。	
	課題			
	地域での話し合いがもたれているところがどこにあるかはわかってきたものの、その中で生じている課題がどんなことであるのかの調査は今後必要になってくると思えます。			
	課題解決のための改善内容・取り組み方針			
	最終目標である情報の取りまとめにはまだまだ地域の課題を持っている関係者との情報交換が必要と思えます。今後は積極的にこちらからアプローチすることで担当者の協力を得る体制を作っていく必要があると思えます。			
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)			
	関係部所や担当者に話を伺いさらに詳細に関する調査を進めます。			
	今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明	
		2年4月 ～ 2年9月	座談会等の実施担当者からより詳細な地域での課題についての聞き取りを進めます。	
	2年10月 ～ 3年3月	福祉マップについての現況調査を進めます。		
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見				
福祉マップはどのようなイメージのものですか。				

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	濱田 正之
該当項目	行動目標	1	もっと学ぼう、知らせよう—情報の共有促進	
	取り組み	②	福祉教育アプローチの構築	
現状と課題	<p>学校や自治会などでの福祉体験、その内容をまとめた「やさしい心の種をまく」を平成26年度から小中学校等に配布し、先生方にも活用していただき、福祉体験学習等に取り組む学校も増えました。また地域（自治会・町内会等）での福祉体験も増えてきています。しかし、学校や地域によって福祉や防災などへの取り組みには温度差があるのも現状です。個々にすばらしい取り組みをしていますが、地域で連携して取り組んでいる地区は少ないようです。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた のかなど)	<p>(1) 福祉についてのより深い知識の習得に向けて福祉教育研修会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：ボランティア活動について市内の学校、地域での取り組みの活動内容調査 (学校、子ども会等) 受け入れ先、ご協力いただける機関についての調査 (各事業所、ボランティア・NPO団体、ふれあいサロン、給食サービス等) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：児童・学生や地域の皆さんにボランティアと触れ合う機会を設け、市や社協、包括支援センター等の仕事について知ってもらうこと。 			
令和元年度 の実施状況	<p>ボランティア受け入れをしている団体については概ね把握することができましたがその内容についてはまだ未確認の部分も多くあります。</p> <p>各学校での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の時間を利用しての福祉事業所等での職場体験 ・ボランティア受け入れ先、ボランティア募集のチラシの配布と掲示 ・市内小学校を中心に福祉体験としてボランティアを派遣 (車椅子体験、アイマスク白杖体験、点字、手話講座など) <p>活動受け入れ先、ご協力いただいている団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協障害者・高齢者福祉サービス事業所（あけぼの、ふじしろ、つつじ園、こども発達センター、さくら荘） ・高齢者施設（特別養護老人ホーム、介護保険施設、デイサービス事業所など多数） ・NPO団体 ・ふれあいサロン ・給食サービス ・各種ボランティア団体（行事やイベント時のサポートなど） 			

進行管理	成果状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月 ～ 3月	3	ボランティア活動において指導的役割を担っている担当者の皆さんに、より深い知識、理解を得て頂いて活動の質の向上、継続を目的とした福祉教育研修会を実施する事に至るまでの調査を進めていますが、まずは現状について少しずつ具体的な活動内容等の調査が進んできました。	
	課題				
	将来的には活動に際しての目的に合わせた受け入れ先、協力団体が容易に選択できるようになればと考えます。今後より詳細な情報収集が必要と思われれます。				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	さらに調査を進めどのようなところでどんな体験ができるのかを担当者にお知らせすることでまずはボランティア参加者の増加を目指します。その後ボランティア担当者や教員など指導的立場にある方々に更に福祉に対する理解を深めていただけるよう福祉教育研修会の実施に向けての調整を始めていきたいと考えます。				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	引き続き学生などの受け入れをしていただいている機関についての調査を進めるとともに学校関係者など指導的立場にある方々との情報交換を進めたい。				
	今後の方向性	期間	今後の方向性の説明		
		2年4月 ～ 2年9月	ボランティア活動に対するさらなる情報収集		
	2年10月 ～ 3年3月	福祉教育研究会実施に伴う情報交換			
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	課長補佐	氏名	小林 一郎
該当項目	行動目標	2	支えられ、支え合おう一担い手の育成	
	取り組み	①	新たなボランティア活動の推進、地域への参画	
現状と課題	<p>各種ボランティア活動に関する養成講座は行っていますが、参加者が減少しています。趣味を生かした仲間づくりからボランティアに発展するよう様々な趣味教室やサークル活動にボランティアとして活躍していただくような仕組みづくりが必要です。</p> <p>また、地域でのごみ出しなどちょっとした困りごとを解決するための小地域のボランティア活動が求められています。</p>			
事業・業務の具体的内容等に・どのレベルまで達成させたいのかなど	<p>(1) 誰もが参加しやすいボランティア活動の研究</p> <p>①・実施内容： 趣味サークルを把握します。</p> <p>・実施期間： 令和2年3月31日まで</p> <p>・達成目標： 公民館や老人センターなどで行われているサークル・趣味活動を調査し、一覧を作表作成します。</p> <p>②・実施内容： 市民へのボランティア参加に向けての広報、啓蒙啓発活動を推進します。</p> <p>・実施期間： 令和2年3月31日まで</p> <p>・達成目標： 協議体における座談会での参加しやすいボランティアを提案し、参加に繋がります。</p> <p>(2) 地域リーダーを育成します。</p> <p>・実施内容： 地域の人材の育成を推進します。</p> <p>(地域の課題や地域での活動を行えるような人材育成を行うため、各種養成講座や講習会を開催)</p> <p>・実施期間： 令和2年3月31日まで</p> <p>・達成目標： 他市町村視察し、課題解決の糸口を見つけるため情報の収集を行います。</p> <p>(3) 地域資源を活用します。</p> <p>・実施内容： 現在社協で行われているボランティア指導員の活躍の場を広げます。</p> <p>・実施期間： 令和2年3月31日まで</p> <p>・達成目標： 脳トレボランティア・スローエアロビックを集会所等小地域での開催を目指します。</p>			
令和元年度の実施状況	<p>(1) 誰もが参加しやすいボランティア活動の研究</p> <p>①各公民館や老人センターあけぼの・さくら荘・かたらいの郷で行われている講座を調査し、各項目別にまとめ一覧表を作成しました。</p> <p>②市民協働課によるボランティア団体の活動体験を行うマッチングプログラムの開催。夏休み期間のボランティア講座。移送サービス運転認定講習会、手話や点字講座等ボランティア講座開催することで市民の参加と、参加していない方にも広報等で告知し、実施しているボランティア活動について幅広く知ってもらう機会を設けました。</p> <p>(2) 地域リーダーを育成します。</p> <p>脳トレボランティア指導員養成講座、スローエアロビック指導員フォローアップなど地域での活躍が望めるボランティア育成を行いました。また、市外の視察を行い講座についての調査も行いました。また、取手市で行われている自殺対策予防として保健センターと協働してサロン関係者等に今年度中にゲートキーパー養成講座の一つ傾聴講座の開催を行いました。</p> <p>(3) 地域資源を活用します。</p> <p>中央タウン女性学級、井野女性学級で脳トレ講座を開催。今後、脳トレを定期的で開催してもらってボランティア派遣の定着化を目指し、紹介をしました。また、げんきサロン稲においても年2回行いました。脳トレボランティアは月1回勉強会を開催して脳トレ指導員のフォローアップも行いました。</p>			

進行管理	成果状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月～3月	4	(1)①趣味サークル等の一覧により情報を欲しい方についての情報提供がしやすくなりました。 ②市民協働課マッチングプログラムの開催や夏休み期間のボランティア講座、他各種講座での参加者に取手市内のボランティア団体を紹介し、広く知ってもらうことができました。 (2)地域で活動するための各種養成講座を開催しましたが参加者はいずれも少なく地域につなげる仕組みづくりについての課題が残りました。 (3)脳トレ講座について関心を持ってもらう機会を提供でき、定期的な行事として定着するようになりました。	
	課題				
	<p>(1) ボランティア講座から活動につなげたり、情報の提供の効果的な方法、市民の参加につなげることが難しい状況にあります。</p> <p>(2) 地域に対する活動が低迷している中で、どのような講座が良いか、どのように市民の関心を得られるか、効果的な方法を見つけることが難しい状況にあります。</p> <p>(3) 脳トレボランティアもスローエアロビックボランティアについて、ボランティアの登録数に対して活動する方が少なくボランティアの派遣が難しい状況にあります。</p>				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	<p>(1) ボランティア講座から活動につなげたり、情報の提供の効果的な方法、市民の参加につなげるための方法について調査研究を引き続き行います。</p> <p>(2) 引き続き地域づくりに関する講座を行いつつ、関係機関地域との連携など仕組みづくりについて調査研究を行います。</p> <p>(3) 脳トレボランティア指導員養成講座、スローエアロビックボランティア指導員養成講座を開催し、新しい会員を増やし、人材を確保します。</p>				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	<p>(1) (2) 地域包括支援センター、市民協働課、協議体、自治会町内会、ボランティア団体との連携、情報共有を行いながら。必要な情報発信をし、興味関心のある方をつのり活動につなげます。</p> <p>(3) 地域でのボランティア活動を行っている団体、サークル等での脳トレとして脳トレボランティア指導員派遣などを行い認知度を上げていきます。</p>				
	今後の方向性	期間	今後の方向性の説明		
		2年4月～3年3月	<p>(1) 介護予防と地域交流を目的とした地域でのボランティア活動の推進。高齢化の中で地域での支え合い活動につながるような啓発活動を継続して行います。</p> <p>(2) 地域リーダーの育成につながる講座は市民の興味関心がある内容で行います。</p> <p>(3) ボランティア養成講座を継続して開催し、ボランティアにつなげるよう、フォローアップも継続して行います。</p>		
年 月 ～ 年 月					
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
出来たものに関しては資料として提示していただきたいと思えます。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度		
担当者	職名	係長	氏名 橋本 睦
該当項目	行動目標	2	支えられ、支え合おう一担い手の育成
	取り組み	②	次世代（若者）担い手の育成、拡大
現状と課題	<p>学校での福祉体験ボランティアなど多くの小中学校で開催していますが、学校行事以外のボランティア活動につなげることが難しい状況にあります。学校行事以外の参加が出来るような仕組みづくりが必要です。また、子育て世代や高齢者等地域の方たちとの交流や新たなかたちのボランティアの仕組みが必要となっています。</p>		
事業・業務の具体的内容等 (何をいつまでにどのレベルまで達成させたのかなど)	<p>(1) 障害のある方との交流を持つ機会を作ります。</p> <p>①・実施内容： 障害者施設での小中学生の職場体験や実習の受け入れを積極的に行い、障害者に対する関心を深め、正しい知識の習得やボランティアの必要性などの学習を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間： 令和2年3月31日まで ・達成目標： 市内障害者施設でのイベントの把握します。 <p>②・実施内容： 障がい者交流イベントや障がい者スポーツを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間： 令和2年3月31日まで ・達成目標： 市内全域での障害者施設でのイベントの把握します。 <p>(2) 子育て世代がボランティアに参加する仕組みを作ります。</p> <p>①・実施内容： 子育て世代のボランティア参加についての研究します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間： 令和2年3月31日まで ・達成目標： 子育て関係機関での調査します。 <p>②・実施内容： 子どもと高齢者の交流を持てるようなサロンを開設します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間： 令和2年3月31日まで ・達成目標： 子育てサロン1ヶ所の開設 		
令和元年度の実施状況	<p>(1) 障害のある方との交流を持つ機会を作ります。</p> <p>①・②とも市内障害者施設に連絡を入れ、各施設でのイベント聞き取りを行い、一覧にまとめました。</p> <p>(2) 子育て世代がボランティアに参加する仕組みを作ります。</p> <p>①子育てサロンではどのような方がボランティアをしているかを調査しました。</p> <p>②つつじが丘のコミュニティーサロン視察 鹿島市での子育てサロンについて調査。地域と子育てボランティアについての調査を行いました。</p>		

進行 管理	成果 状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月～ 3月	4	(1)市内の障害者イベントを一覧にしたことで障害当事者とボランティアをした 方両方に情報を提供できるようになりました。 (2)子育てサロンについての仕組みについてボランティアの状況や地域とのかか わりについての調査ができ立ち上げについての参考になりました。	
	課題				
	(1)障がい者イベントの情報発信方法についてやイベント開催について参加者にどのようにつなげられ るかという問題があります。 (2)高齢者問題についてが注目される中、地域での子育て世代のサロンについて高齢者との共生関係な ど、地域内での情報の共有や連携についての仕組みづくりが必要です。				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	(1)イベントと参加者をつなげる方法についてボランティアの育成と参加につなげるための効果的な手 法についてを研究します。成功事例等を市内外についても視野に入れた調査を行います。 (2)今回の取材で子育て中の保護者の中でも何かやりたい方、また、特技がありそれを同じ子育て中 の方に対して役に立てたいという方がいるとのこと。サロンやサークル結成や関係団体等につなげる方 法、欲しい情報を届ける方法を研究します。				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	(1)(2)共通 地域包括支援センター、市民協働課、協議体、自治会町内会、ボランティア団体との連携、情報共有 を行いながら必要な情報発信をし、興味関心のある方をつのり活動につなげます。				
	今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明		
		2年4月 ～ 3年3月	(1)イベントと地域をつなぐための調査研究を継続して行います。 (2)子育て世代の情報発信についての調査研究を継続して行います。		
	年 月 ～ 年 月				
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	佐藤 晶彦
該当項目	行動目標	3	いろいろな支援を進めようー福祉サービスの充実	
	取り組み	①	安全に暮らせるまちづくりの推進（バリアフリー）	
現状と課題	<p>地域の課題として、普段生活をしている際に、日常生活上危険や不便を感じる場所があり、子供、高齢者、身体の不自由な人が移動するのに不安を感じることや地域でのつながりが希薄になっている状況において、近年、想定外の災害がおきるため、地域でお互い助け合うことが困難になるのではないかと不安に感じている状況があります。</p> <p>しかしながら、地域によっては、児童登下校の見守りのスクールパトロールや防犯パトロール等に取り組んでいるところもあり、地域住民の共助によって様々な取り組みがなされているところもあります。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた いのかなど)	<p>(1) 危険度エリアマップづくりのための検討会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：現状の地域における危険箇所等についての情報・マップ作成等状況の調査（行政レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課への聞き取りの実施及び情報集約 <p>(2) 地域見守り隊の活動に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：現状の地域における見守り、防犯等の取り組み状況についての調査（行政、関係団体、市民レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、関係団体、各町会等への聞き取りの実施及び情報集約 <p>(3) 緊急支援できるボランティアを育成し、組織化をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：緊急支援等ができるボランティア育成への取り組みの調査（行政、市社協、関係団体レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所担当課、市社協担当、ボランティア団体等への聞き取りの実施及び集約 			
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 危険度エリアマップづくりのための検討会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市市民協働課、安全安心対策課へ聞き取り実施 <p>(2) 地域見守り隊の活動に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市市民協働課、安全安心対策課、市社協へ聞き取り実施 <p>(3) 緊急支援できるボランティアを育成し、組織化をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市社会福祉課、市民協働課、安全安心対策課、市社協へ聞き取り実施 			

	成果状況評価		成果状況に対する説明
	成果状況	9月～3月	3 (1) 危険度エリアマップづくりのための検討会を実施します。 上記の目標については、取手市としては、取手市ハザードマップやほどよく絶妙とりでおたすけマップを作成し、地域情報とともに市民に発信している。市内のいくつかの町会、自治会においては、独自に危険箇所を把握し住民に情報として発信している地区もある。地域の意識を高める為に出前講座にて当該地区についての状況を具体的に説明しながら講座を行っている。 (2) 地域見守り隊の活動に努めます。 上記の目標については、地域において子供たちの登下校時の見守り活動であるスクールガード等を行うと共に防犯パトロール等を実施している地区もあり、地域の防犯にも意識を高めている。 (3) 緊急支援できるボランティアを育成し、組織化をめざします。 上記の目標について、社会福祉課において避難行動要支援者台帳を作成し個別支援計画へと進めていく段階にあり、地域においては自主防災会を中心として避難者、救助者のマッチング、シュミレーションしている地区もある。社協においては災害ボランティア研修会を開催し災害時の意識を高める内容としている。
進行管理	課題		
	・地域の特性がある中、3つの項目のそれぞれにおいての課題として、地域ごとに差があるということが現状を把握していくと明らかになってきた。 ・調査が十分ではない為、地域の取り組みが把握できていないことも考えられる。地域での小さな取り組みについても重要な社会資源と考え、情報収集及び集約が必要と思われる。		
	課題解決のための改善内容・取り組み方針		
	・それぞれの課題について先進的に実施している地域、担当課等にどのように組織化、運営等を行っているのかを具体的に調査。 ・その取り組みをモデルとして発表の機会等を作ることにより、他地区においての取り組みの参考となるものの提供。		
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)		
	(1) については、取手市安全安心対策課等と取手社協ボランティア支援センターの協働・連携 行動目標4-①との協働・連携 (2) については、取手市高齢福祉課、地域包括支援センターと取手社協地域支援係との協働・連携 行動目標4-①、4-②との協働・連携 (3) については、取手市社会福祉課等と取手社協ボランティア支援センターの協働・連携 行動目標2-①、②との協働・連携		
今後の方向性	期間	今後の方向性の説明	
	令和2年4月～令和3年3月	(1) 危険度エリアマップづくりのための検討会を実施します ・先進的に取り組んでいる地域への聞き取り、集約	
	令和2年4月～令和3年3月	(2) 地域見守り隊の活動の支援に努めます ・先進的に取り組んでいる地域への聞き取り、集約	
	令和2年4月～令和3年3月	(3) 緊急支援できるボランティアを育成し、組織化をめざします ・先進的に取り組んでいる地域への聞き取り、集約	
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見			
避難行動要支援者台帳についてですが、台帳を作ったどの辺まで情報提供ができますか？			

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	佐藤 晶彦
該当項目	行動目標	3	いろいろな支援を進めようー福祉サービスの充実	
	取り組み	②	一人で抱え込まないための相談支援活動の充実	
現状と課題	<p>地域の課題として、低所得、独居化、家族関係の希薄化が進む中、現状の福祉サービスだけでは不十分な人への支援をどのようにしたらよいかとの不安等があり、自分の困っていることや福祉全般の相談について気軽に相談でき、援助してもらえるサービスメニューについて分かりやすく教えてもらえるような総合相談体制が欲しいとの希望があります。</p> <p>一部の地域では、困った時は民生委員、包括支援センターへ相談している人が増え、ご近所、近くの友人同士の結びつきも機能しているようではありますが、現在もどこに相談すればよいか分からず困っている方々もいます。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた いのかなど)	<p>(1) ニーズを早く解決する為の仕組みや体制をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：現状の困りごと等への相談の仕組み、連携等の状況の調査 (行政、市社協レベルにおいて) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、市社協への聞き取りの実施及び情報集約 <p>(2) みんなで守る意識を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：現状の地域での助け合いへの取り組み、啓蒙活動等の状況の調査 (行政、市社協レベルにおいて) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、市社協への聞き取りの実施及び情報集約 <p>(3) 見守り助け合いネットワークづくりの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：現状の地域において訪問活動等の取り組みの状況の調査 (行政、市社協レベルにおいて) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、市社協への聞き取りの実施及び情報集約 			
令和元年度 の実施状況	<p>(1) ニーズを早く解決する為の仕組みや体制をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市社会福祉課、市社協への聞き取り実施 <p>(2) みんなで守る意識を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市社会福祉課、市民協働課、市社協への聞き取り実施 <p>(3) 見守り助け合いネットワークづくりの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況：取手市社会福祉課、市民協働課、市社協への聞き取り実施 			

進行 管理	成果 状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月～ 3月	3	<p>(1) ニーズを早く解決する為の仕組みや体制をつくります。 上記の目標については、様々なニーズを解決する為の窓口として、取手市、取手社協、関係機関との連携ができてきている。今後も連携・協働をしていく。</p> <p>(2) みんなで守る意識を高めます。 上記の目標については、地域の相談窓口として市政協力員、民生委員（つなぐ役割）を通して地域に相談できる窓口として活動して頂いている。気軽に相談できる、語らいの場を設けたりしている地区もある。</p> <p>(3) 見守り助け合いネットワークづくりの充実を図ります。 上記の目標については、民生委員の方々の訪問活動、社協ヘルパーによる訪問活動（愛の定期便：ヤクルト配布）等を実施している。</p>	
	課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに対応する仕組みや体制は整いつつあるが、どこにいけば相談できるのか、相談してもよいのか等の意見が現在もある。 ・地域における取り組み状況にも差がある。どのように取り組んでいけばよいのか分からない。 ・座談会、協議体等での情報、課題等についての具体的な行動へのステップに進めていない。 				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における取り組みと行政、取手社協との連携・協働の強化、情報発信の強化 ・地域において、気軽に話ができる場所、機会をつくり、その場所においても相談窓口の情報が分かるようにしていく。 ・地域の座談会、協議体での話し合いの場において、地域の見守りや助け合いの活動のモデル等を発信する。 				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	<p>(1) については、取手市福祉部と取手社協相談支援係の協働・連携 行動目標 1-①との4-①との協働・連携</p> <p>(2) については、取手市市民協働課、福祉部及び各地域包括支援センターと 取手社協地域支援係の協働・連携 行動目標 1-①、4-①との協働・連携</p> <p>(3) については、取手市福祉部及び地域包括支援センターと取手社協地域支援係の協働・連携 行動目標 2-①、4-①との協働・連携</p>				
	今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明		
		令和2 年4月 ～ 令和3 年3月	<p>(1) ニーズを早く解決する為の仕組みや体制をつくります。 ・地域包括支援センター、ボランティア団体等への聞き取り、集約</p>		
令和2 年4月 ～ 令和3 年3月		<p>(2) みんなで守る意識を高めます。 ・地域包括支援センター、自治会・町内会等への聞き取り、集約</p>			
令和2 年4月 ～ 令和3 年3月		<p>(3) 見守り助け合いネットワークづくりの充実を図ります。 ・地域包括支援センター、自治会・町内会等への聞き取り、集約</p>			
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	寺田 一恵
該当項目	行動目標	3	いろいろな支援を進めようー福祉サービスの充実	
	取り組み	③	ふれあいの機会を増やします	
現状と課題	<p>地域の状況として、一部の福祉施設については、地域住民、学生などのボランティアの皆さんが施設に訪れ、沢山のふれあいの機会を作ることができています。今後は、若い世代や身体の不自由な方も気軽に参加できるような様々なイベント等の開催が望まれています。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた のかなど)	<p>(1) 誰でも気軽に参加できるイベントを開催します。 ・実施内容：現状の市内で実施されているイベント等の状況の調査 (行政、市社協、関係団体、市民レベルにおいて) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、市社協、関係団体等への聞き取りの実施及び情報集約</p> <p>(2) 福祉施設との交流の機会を増やします。 ・実施内容：現状の市内福祉施設での地域住民・学生等との交流機会の状況の調査 (行政、市社協、関係団体レベルにおいて) ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：取手市役所各担当課、市社協、関係団体等への聞き取りの実施及び情報集約</p>			
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 誰でも気軽に参加できるイベントを開催します。 ・実施状況：取手市市民協働課、市社協への聞き取り実施</p> <p>(2) 福祉施設との交流の機会を増やします。 ・実施状況・実施状況：取手市市民協働課、市社協、関係団体への聞き取り実施</p>			

進行 管理	成果 状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月～ 3月	3	<p>(1) 誰でも気軽に参加できるイベントを開催します。 上記の目標については、取手市、取手社協等で協働で開催しているものから、それぞれで実施しているものまで多くのものがある。取手市市民協働課において取り組んでいるイベントを調査し、内容を精査すること。開催時期が重なるものや、イベント内容の再確認を行いより良い内容の企画、検討を行っていくとのこと。ボランティア団体との連携・協働も継続して必要と思われる。</p> <p>(2) 福祉施設との交流の機会を増やします。 上記の目標については、取手市内福祉施設については、それぞれに取り組んでいる状況がある。取手市市民協働課や取手社協、その他事業所、団体において、それぞれに行っている状況があり、ボランティアや交流の機会の案内の際、学校や企業、団体等に情報の混乱がある為、今後の取り組みに検討が必要と思われる。</p>	
	課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントは開催されているが、子供や若い世代、子育て世代等の参加や身体の不自由な方の参加は少ない状況である。 ・イベントについても数多くあり、開催時期が重なってしまうことがある。 ・ボランティアや交流の機会については、詳細情報の集約がされていない。 				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの効果的な実施にあたり、現在のイベント（主に取手市、取手社協）についての詳細の把握 ・イベントについての広報活動・啓蒙啓発活動の実施 ・世代や障害の有無にかかわらず参加できるイベントの企画・提案 				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	<p>(1) については、取手市市民協働課、福祉部各課と取手社協の協働・連携 行動目標 2-②との協働・連携</p> <p>(2) については、取手市市民協働課、取手社協の協働・連携 行動目標 2-②、4-②との協働・連携</p>				
	今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明		
		令和2年4月～ 令和3年3月	<p>(1) 誰でも気軽に参加できるイベントを開催します ・取手市市民協働課、ボランティア団体への聞き取りの継続</p>		
今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明			
	令和2年4月～ 令和3年3月	<p>(2) 福祉施設との交流の機会を増やします ・高齢福祉課、地域包括支援センター、ボランティア団体への聞き取りの継続</p>			
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	主事	氏名	亀井愛夏
該当項目	行動目標	4	みんなで集まり、協力しよう―連携強化と拠点づくり	
	取り組み	①	地域拠点づくりの促進	
現状と課題	<p>自治会や町内会の加入が減少しています。地域の活動への関心が薄れるのと共に、高齢化により役員などの役割が困難になってきている現状があります。地域の活動の基盤ともいえる自治会町内会の活動として住民の理解や必要性についてを今一度考えなくてはならない時期にきています。</p> <p>また、見守り活動や助け合い活動等移動困難な高齢者が活動に参画できる小地域の活動の促進が必要不可欠になってきています。地域の絆や活動に関心を持ってもらえるような仕組みづくりが必要となってきています。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた いのかなど)	<p>(1) 地域のニーズに応じた社協活動を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：取手市内外での自治会活動の先進地域の調査とより良い地域の活動についての研究 ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：様々な自治会や町内会の状況の集約 <p>(2) 町内会（自治会）の活動を支援します。</p> <p>① 実施内容：様々な小地域活動や取り組みについての調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：地域のコミュニティについての調査と社会資源についてのマップ作成 <p>② 実施内容：各地域の自治会館や集会所で行われている趣味サークルからサロン活動への転換を図るべくふれあいサロンの広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：ふれあいサロン5ヶ所開設 			
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 地域のニーズに応じた社協活動を進めます。</p> <p>鹿島市での状況を視察しました。12の地区社協に分かれていて協議体やまちづくりなど様々な取り組みが行われています。それぞれの特徴があり、参考になる活動をまとめました。</p> <p>(2) 町内会（自治会）の活動を支援します。</p> <p>① 市民協働課に提出された自治会や町内会の事業報告書からイベントや地域で行われている行事について一覧にしてまとめる予定です。</p> <p>② ふれあいサロンの利用者に対する保険についてや立ち上げ助成金についての説明、地域での市民交流についての説明等を行うことで現在3団体の新規サロンが立ち上がりました。また、2月に一カ所立ち上がる予定です。さらに2件問合せがあり、立ち上げに向けて説明していきます。</p>			

進行管理	成果状況評価		成果状況に対する説明
	成果状況	9月～3月	4
	<p>(1) 鹿島市での状況の視察を参考に地域での取り組みをまとめ必要に応じて活動を紹介できるようになりました。</p> <p>(2) ①様々な小地域活動や取り組みについてをまとめることで、地域の状況社会資源を見える化していきます。</p> <p>②地域でのボランティア活動として有効なふれあいサロンの活動が受け入れられ、各地域で立ち上げられました。今後も広報活動をしてさらに多くの地域で行われるようにします。</p>		
	課題		
	<p>(1) 地域の活動についての必要性や今後の高齢化社会に対して市民の方に危機感を持ってもらい、地域の活動につなげる仕組みづくりの重要性を知ってもらう必要があります。また、介護予防を通じた地域の交流についても広報していく必要があります。</p> <p>(2) 自治会の加入率の低下、自治会活動が高齢化により運営が難しい現状についての打開策を早急に見出さなくてはなりません。今後も先進地の取り組みや有効な活動、仕組みづくりの研究が必要になっています。</p>		
	課題解決のための改善内容・取り組み方針		
	<p>(1) (2) 共通なものとして市内外の状況を研究して先進地の視察、実際に行うための手法を学んで、地域の活動に生かしていきます。</p>		
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)		
	<p>地域包括支援センター、市民協働課、協議体、自治会町内会、ボランティア団体との連携、情報共有を行いながら現状を把握していきます。</p>		
	今後の方向性	期間	今後の方向性の説明
2年4月～3年3月		<p>(1) 地域の活動をまとめた資料を基に地域とつなげ、活動状況、必要な社会資源とのマッチング方法を模索し、より良い活動の仕組みを考えていきます。</p> <p>(2) ①地域の活動をまとめた資料を基に地域とつなげ、活動状況、必要な社会資源とのマッチング方法を模索し、より良い活動の仕組みを考えていきます。</p> <p>②引き続きふれあいサロンについての活動説明、保険についてなど、協議体や座談会、広報して立ち上げの協力をしていきます。</p>	
	年 月 ～ 年 月		
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見			
<p>鹿嶋市社協の取り組みについてどのようなものがあつたか教えてください。また、子育てサロンとはどのようなものか教えてください。</p>			

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度		
担当者	職名	課長補佐	氏名 小林一郎
該当項目	行動目標	4	みんなで集まり、協力しよう―連携強化と拠点づくり
	取り組み	②	関係機関との連携体制作り
現状と課題	<p>協議体での取り組みは地域の課題を浮き彫りにするための取り組みとして活発に行われています。特に地域ごとに開催される座談会においては地域の状況を把握するとともに、地域で活躍する住民や問題意識を持った人が集まるため建設的な意見交換がなされています。しかし、協議体や地域包括支援センターの活動がまだ十分に周知されていないため、住民の一部の関心を持つ方のみとなっています。協議体や座談会が全市民に周知され地域の情報や課題について共通認識できる場が地域の課題を解決する仕組みとして最善のものとなりうるため、市や社協、ボランティア、市民活動団体が連携し、小地域活動や協議体の活動を広報する仕組みづくりが必要です。また、企業や学校など社会資源を有効に活用する仕組みづくりが必要となっています。</p>		
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまで に・どのレベル まで達成させた いのかなど)	<p>(1) 住民ニーズの把握に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：協議体への参加の協力の推進 ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：実際行われた座談会の特集記事として広報 </p> <p>(2) 学校と連携した地域の拠点づくりに努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：戸頭おやすみ処での夏休み期間の小学校ボランティアについて類似した活動を他の学校でも行えるよう学校との連携を持ち協議 ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：学校での取り組みの情報集約 </p> <p>(3) 地域福祉推進における諸活動の周知をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：協議体で行っている座談会の活動を周知する方法を模索し、周知する仕組みを研究する ・実施期間：令和2年3月までに ・達成目標：市民活動や地域に参加するためのきっかけづくりに繋がるような講演会の開催 </p>		
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 住民ニーズの把握に努めます。 4圏域の地域包括支援センターでの取り組みについてを取材し、地域での座談会の開催地区や取り組みによってできたサービス等についてまとめました。この内容について地参地笑CD紹介フォルダを作り紹介をする予定です。</p> <p>(2) 学校と連携した地域の拠点づくりに努めます。 戸頭おやすみ処への取材と学校との連携についてを調査し、他の学校とのノウハウの共有の参考資料を作成する予定です。</p> <p>(3) 地域福祉推進における諸活動の周知をします。 4圏域の地域包括支援センターでの取り組みについてを取材しました。 ・9月 藤代なごみの郷『これからの自動車運転』について講演会、シンポジウム ・2月 はあとびあ 『防災シンポジウム』 が開催され、市民に向けた協議体の活動を知ってもらう取り組みとして市民の関心のあるテーマで多くの方が集まるよい機会となりました。他の地域でも様々な取り組みがあり広報するための資料を作成する予定です。</p>		

進行 管理	成果 状況	成果状況評価		成果状況に対する説明	
		9月～ 3月	4	(1) 地域課題を解決する仕組みとして協議体の活動を知ってもらい市民が参加してもらうための仕組みを知ってもらうことと現状についての活動をまとめ、他の地域の活動も知ることができるようになりました。 (2) 現在学校との連携でボランティアが行われている戸頭おやすみ処では戸頭小学校6年生がお茶出しや接客を夏休み期間に行い、取手小学校5年生はふれあいサロン3カ所と給食サービス1カ所にクリスマスカードを作成してお年寄りに送っています。今後他の地域での学校の取り組みの指針とするための資料を作成し、他の学校での協力体制の確立を目指します。 (3) 各シンポジウムについての方法を広め各圏域の取り組みを知ってもらうこととさらなる効果的な広報の方法を模索するきっかけとなりました。	
	課題				
	(1) 今年度は協議体の活動を知ってもらうための広報について研究に力を入れましたが、市民の参加につながるような仕組み作りについては今後さらに必要になってきます。 (2) 学校単位での協力と直接かかわる先生とも協力、連携をとれるようになることが必要です。 (3) 市民参加につながる効果的な方法についてさらなる研究が必要です。				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	(1) (2) (3) 共通なものとして市内外の状況を研究して先進地の視察、実際に行うための手法を学んで、地域の活動に生かしていきます。				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	地域包括支援センター、市民協働課、協議体、自治体町内会、学校、ボランティア団体との連携、情報共有を行いながら現状を把握していきます。				
	今後の 方向性	期間	今後の方向性の説明		
		2年4月～ 3年3月	(1) 前年度の地域の取り組みを整理し、効果的な方法をまとめ地域性と関係機関についてさらに深掘りしていきます。 (2) 学校と地域での活動についての研究提案をするための調査を行います。 (3) 協議体での活動と合わせて小地域の活動についての把握をしていきます。		
	年 月 ～ 年 月				
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度		
担当者	職名	係長	氏名
			長谷川 弘典
該当項目	行動目標	5	子どもたちを地域で育もう—子育て支援
	取り組み	①	子育て支援の促進
現状と課題	<p>現代の子どもたちを取り巻く環境は、核家族化や共稼ぎ世帯の増加などを理由に変化しております。そして児童虐待を始め、孤食や貧困問題など様々な子育て、子どもたちに対する課題が大きく取り上げられております。その中で、地域で子どもたちを育むという意識も希薄であるように感じられ、多くの人が参加できる子育て支援に関する行事や、親子でふれあう機会が減少しており、子どもの置かれている状況を地域が把握できなくなっています。</p>		
事業・業務の 具体的内容等 (何を・いつまで に・どのレベル まで達成させた のかなど)	<p>(1) 親子交流の場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：市内における「親子交流の場」に関するアンケート調査を、子育てに携わる関係各課、保育所、ボランティア等に対して実施 ・実施期間：令和2年3月までに実施 ・達成目標：市内における「親子交流の場」に関する実態の把握 </p> <p>(2) 家族が地域とふれあう機会づくり <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：市内における「家族と地域がふれあう機会づくり」に関するアンケート調査を、子育てに携わる関係各課、保育所、ボランティア等に対して実施 ・実施期間：令和2年3月までに実施 ・達成目標：市内における「家族と地域がふれあう機会づくり」に関する実態の把握 </p> <p>(3) 地域住民ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容：市内における「地域住民ネットワークの整備」に関するアンケート調査を、子育てに携わる関係各課、保育所、ボランティア等に対して実施 ・実施期間：令和2年3月までに実施 ・達成目標：市内における「地域住民ネットワークの整備」に関する実態の把握 </p>		
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 親子交流の場の整備 (2) 家族が地域とふれあう機会づくり</p> <p>取手市では、家庭での交流のみではなく、地域の人々との交流も重要ととらえ、地域住民の子供・子育ての関心を喚起して、地域ぐるみで子供を育てることを目指していました。子育て支援課では、「地域子育て支援センター」を市内4か所開設し、子育てに関する相談や情報の提供を行っていました。保健センターでは「親子教室」、ことばかけをすることで親子の絆を作る大切さを学べる「ブックスタート」を実施していました。また、水とみどりの課では、水辺に親子が集い憩える地域交流の拠点をつくる「水辺プラザ整備事業」を進めていました。</p> <p>(3) 地域住民ネットワークの整備 要保護児童対策協議会（子どもを守る地域ネットワーク）の強化を図るため、調整機関職員や、ネットワーク構成員（関係機関）の専門性とネットワーク機関の連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を図っていました。</p>		

進行管理	成果状況			成果状況に対する説明	
		9月～3月	3	取手市では、地域の市民が子育て家庭に寄り添い、各家庭の子育てに関する負担や不安、孤立感を少しでも和らげるために、子育てを地域全体の問題として捉え、親子の育ちを市民みんなで支える地域社会を目指していることを把握することができました。	
	課題				
	取手市内全域で行われている取手市以外の団体等で実施している「子育て」「交流」「住民のネットワーク」に関する事柄を把握することができていないため、取手社協としても、住民ニーズの把握ができておらず、取手市や他団体等とのかかわり方がつかめていません。				
	課題解決のための改善内容・取り組み方針				
	行政だけではなく、他の団体等で実施している事業等を把握し、取手社協としてどのようにかかわっていくか、また、どのようにすれば取手社協が住民ニーズに答えられるか調査検討を進めて参ります。				
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)				
	各行動目標で掲げられているイベント等の交流活動について、子育て支援につながるようなものであれば協働連携して参ります。				
	今後の方向性	期間	今後の方向性の説明		
		R2年4月～R3年3月	行政以外の団体等で実施している事業等を調査し、具体的な事業内容等を把握し、取手市内の子育て支援の向上につながる事柄を検討して参ります。		
	年 月 ～ 年 月				
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見					
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。					

第二次取手市地域福祉活動計画実施項目シート

シート作成年度	令和元年度			
担当者	職名	係長	氏名	宮崎江美子
該当項目	行動目標	5	子どもたちを地域で育もう—子育て支援	
	取り組み	②	安心できる居場所をつくります	
現状と課題	<p>・子どもを取り巻く環境の中で、核家族化、共稼ぎ家庭が増え、親子のふれあいが無くなってきているため、子育て世代が安心して参加できるイベントや、地域の中で世代間交流の機会を増やしていく必要があります。</p> <p>・子ども達が安心して集まれる場所が不足しているため、関係機関と話し合い居場所づくりやパトロールの強化が必要となっています。</p>			
事業・業務の 具体的内容等 (何をいつまでに・どのレベルまで達成させたいのかなど)	<p>(1) 安心できる遊び場、居場所づくりをつくります。 ・実施内容：子育て世代が必要としている遊び場、居場所、イベント等についての調査（行政、市社協、市民レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月まで ・達成目標：取手市役所各担当課、自治会等への聞き取り及び情報の集約</p> <p>(2) 遊び方を学べる機会をつくります。 ・実施内容：市内においてシニア世代と地域の子ども達との交流機会の現状調査（市社協レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月まで ・達成目標：市社協、関係団体等への聞き取り及び情報の集約</p> <p>(3) 遊び場見守り体制を整備します。 ・実施内容：地域の見守り体制の現状調査（行政、関係団体レベルにおいて） ・実施期間：令和2年3月まで ・達成目標：取手市役所担当課、市社協担当、ボランティア団体等への聞き取り及び情報の集約</p>			
令和元年度 の実施状況	<p>(1) 取手市として取り組んでいる子ども・子育て支援事業の中で地域子育て支援拠点事業や子育てにやさしい地域づくりの中で、休日の安全な遊び場として公民館や小学校の教室、体育館、校庭を利用し、地域で子育て、異世代間の交流や地域交流の実施している情報を得ることが出来ました。</p> <p style="padding-left: 40px;">取り組み事項：教育委員会スポーツ生涯学習課「市民大学（伝統手工クラブ）」 シニア世代と市民の子どもに限らず、しめ縄や竹細工づくりを実施。</p> <p>(2) 取手市社会福祉協議会の取り組みとしては、げんきサロン、老人福祉センターあけぼのにおいてシニア世代と子ども達の交流をする機会が設けられている事を情報収集することが出来ました。</p> <p style="padding-left: 40px;">取り組み事項：老人福祉センターあけぼの「趣味教室（陶芸）による市内の親子交流会」 「取手消防署による市内幼稚園防火訪問」 「趣味教室（ドリームソング）による子どもとの歌の交流」</p> <p style="padding-left: 40px;">げんきサロン戸頭西「戸頭小学校卒業生にふくろうストラップのプレゼント」 げんきサロン藤代「大正琴サークルによる藤代地域子育て支援センターとの交流会」</p> <p>(3) 地域の見守り体制につきましては情報の集約中です。</p>			

進行管理	成果状況評価		成果状況に対する説明	
	9月～3月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や社会福祉協議会で実施している、子ども達が安心できるあそび場や居場所づくりへの取り組みについての情報収集を行う事が出来ました。 ・見守り体制につきましては、ボランティア団体も含めて情報収集を行っていきたいと考えています。 	
	課題			
	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達との交流を実施している団体や対象としている参加者が限られているため、参加団体や対象者の拡大を広く声掛け出来るようPR方法を考えていく必要があります。 ・子ども達が継続的に参加できるようなイベントの開催が必要と考えます。 ・見守り体制については情報収集を行います。 			
	課題解決のための改善内容・取り組み方針			
	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や他の実施主体の事業でも社会福祉協議会のホームページで広報したり、社会福祉協議会開催の事業を他の団体でもPRしてもらおうなど広く参加者を募っていきます。 ・子ども食堂や無料学習塾等の情報を収集し、市内での拡大について検討していきます。 			
	協働・連携事項(目的達成のために他部や他実施項目との協働・連携について)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代や子ども達の交流会が定期的の実施されるよう、担当課や社会福祉協議会の担当者と活動内容等の把握を行います。 ・子ども食堂等、既に取り組んでいるNPO、ボランティア団体および他市の社会福祉協議会等との情報交換を行います。 			
	今後の方向性	期間	今後の方向性の説明	
		R2年4月～R3年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所担当課および社会福祉協議会担当者に「安心できるあそび場」について具体的な取り組み内容について聞き取り調査を行い広報活動に努めていきます。 ・見守り体制については、ボランティア団体も含め実施内容の把握を行います。 	
	年 月 ～ 年 月			
取手市社会福祉協議会運営委員会委員からの意見				
令和2年度も住民のニーズに沿った計画を進行していただくよう継続的な管理をお願いします。				